



# 浜中町地域公共交通網形成計画 意見交換会のまとめ

令和元年12月



# 1. 意見交換会の概要

## 開催目的

- ・町民の公共交通に対するニーズを把握する。意見交換会では、令和元年10月に実施した実証実験を通じて感じたことなどについてお話しいただいた。

## 開催日程・場所

開催日	開始時間	会場	対象地区
11/18 (月)	18:00	浜中町漁村センター	散布
11/19 (火)	10:00	姉別農村環境改善センター	姉別、厚陽、貰人、恵茶人
	18:00	浜中町琵琶瀬住民センター	琵琶瀬、仲の浜
11/20 (水)	10:00	浜中町茶内第一住民センター	茶内第一、茶内第三、円朱別、西円朱別
	18:00	浜中町榊町会館	榊町、奔幌戸
11/21 (木)	18:00	浜中町茶内コミュニティセンター	茶内市街地・近郊
11/22 (金)	10:00	浜中農村環境改善センター	浜中市街地・近郊、熊牛
	18:00	浜中町総合文化センター	霧多布、湯沸、新川・暮帰別

# 2-1. 浜中町漁村センターでの意見

## 対象地域 散布

### 過去

- 漁組のバスがあった（昭和40年代末ぐらいまで）
- ・漁業協同組合で茶内までバスを出していた
- ・買い物など利用があった
- ・茶内から鉄道での移動もあった
- ・家庭に自動車が普及してバスの利用がなくなった

### 現在

- ・通学での利用が平日毎日ある
- ・通院での利用がある

### 将来

- ・現在バスを利用していない人も運転免許の返納などでバスを利用することも考えられる

### 通院

- ・JRの時間に合わせた乗合タクシーがあればバスの便数が少なくても便利なのは
- ・「散布→霧多布→茶内」のバスがあると多くのニーズに対応できるのでは

### 通院

- ・バスを出して送迎している病院もある
- ・リハビリステーションは週に2回バスが出ている
- ・JRでも通えるが駅から病院への移動が大変
- ・都市間バスは多くの病院で乗降できるが知らない町民が多そう
- ・薬を貰うだけで釧路に通院している人もいる  
→霧多布で貰えば良いのでは？

### バスを利用する難しさ

- ・乗り換えが大変
- ・トイレが近いので長い時間がつらい
- ・前日予約は予定が決まらないこともあるのでつらい
- ・前売りの回数券は役場まで買いに行くことが大変
- ・観光客はどのように利用したらよいかわからないのでは
- ・現金での支払いが望ましい

# 2-2. 姉別農村環境改善センターでの意見

対象地域 姉別、厚陽、貴人、恵茶人

## バス停・ルート

- ・だれも乗らないところを走らせる必要は無い
- ・だれも乗らないところも忘年会や新年会で使われることもある
- ・JRで茶内まで行きバスで霧多布に行くこともある
- ・「浜中駅～ゆうゆ」のバスは利用されていない
- ・役場や店舗などの最寄りバス停で降り用事を済ませてからゆうゆに向かうこともある
- ・実証実験の時間帯は便利で良い
- ・今は使用していないが運転免許証の返納なども考えられるのでバスがなくなったら困る

## 料金

- ・同じ地区で料金が異なる理由がわからなかった
- ・有料になるのは仕方のないことだと思う
- ・回数券は買いに行く手間があるため現金での支払いを望む

## 予約

- ・予定が変わることもあり前日16:00までの予約は難しい
- ・電話での確認を待つことが煩わしい  
→申し込み時に確認電話の時間を伝えてはどうか
- ・予定を立てるためにある程度の定時性がほしい

## その他（ゆうゆについて）

- ・食事の持ち込みが禁止になりバス料金と食事料金1000円前後では利用回数が減る  
→バス料金と利用料金セットの割安感のある企画乗車も考えられる
- ・お茶や座布団ぐらいはあっても良いのでは

# 2-3. 浜中町琵琶瀬住民センターでの意見

## 対象地域 琵琶瀬、仲の浜

### バスを利用する人

- ・高校生 ←
- ・車の無い人
- ・頼る人が近くにいない人
- ・出稼ぎ時（10月～4月）の家族

ターゲットとする利用者

交通に合わせて行動してもらう

10年経てば利用者に

### バスを利用しない人

- ・車を持っていて運転できる人

### バスの利用目的

- ・生活（通院、買い物）  
→霧多布の病院を上手に使いれば町内で用事が済むことも増えるのでは
- ・イベント（ルパン）  
→観光客へのアナウンスも必要では
- ・養殖ウニが周知されつつある  
→浜中町と漁組できょうりよくすることも考えられる

### 生活の場所と交通

- ・茶内は子どもが増加  
→茶内が交通の中心になるのでは
- ・漁業者はやっぱり浜で暮らし仕事をする
- ・昆布の時期はJRで茶内まできて送迎することもある  
→時期によってバスの時間や本数を変えることはできないか

# 2-4. 浜中町茶内第一住民センターでの意見

対象地域 茶内第一、茶内第三、円朱別、西円朱別

おばあちゃんの利用

## バスの利用目的

- ・買い物、デイサロン、ゆうゆなど多様
- ・水曜日のAコープの特売に利用したい
- ・デイサロン（水曜日）は電話で予約して利用

## 乗り継ぎ

- ・ゆうゆまで直接いけなくなったのは不便
- ・茶内での待ち時間が長い
- ・バスの乗り降りが大変
- ・農協で待っている時が寒い

## 実証実験について

- ・乗車券の購入が面倒
- ・週に1回利用で月に4000円は高く感じる
- ・電話予約はデイサロンの利用で慣れているのでは
- ・時間を守らなくてはならない運転手さんはお年寄りの乗降や行動の遅さでイライラしているかもしれないと感じている
- ・早く帰れる便がほしい

子どもの利用

## 習い事など

- ・霧多布までサッカーに行く
- ・図書室で時間つぶしをするが17:00まで
- ・野球は来る子どもがいる
- ・ジュニアのアンサンブルをつくるかも

## 土曜、日曜

- ・総合体育館でバトミントンを教えてくれている
- ・遊べる場所として湿原センターに子どもが集ることも

## 2-5. 浜中町榊町会館での意見

対象地域 榊町、奔幌戸

### 利用の仕方

- ・現在バスの利用が少ないが必要なこともあるため、**デマンド型などの新しい形態**にすることを考える
- ・釧路への通院などで使用する時に**乗り継ぎが大変**  
→デマンド型になると乗り換えが発生するが、利用者に理解してもらうとともに、接続の時間的な工夫や待合場所の工夫などが必要
- ・国道44号を**都市間バスが走っている**が、茶内のセイコーマートで停車することや釧路市内の病院などに停まることは知られていない  
→公共交通について知ってもらうことが必要

### 利用料金

- ・これまで無料で利用できていたが利用料金が必要になり利用しなくなった人もいる  
→維持管理のために**利用料金がかかることを理解してもらう必要がある**（タクシーに比べたら断然安いなどわかりやすい説明が必要）

### 買い物

- ・現在は、ゆうゆからの帰りのバスで**買い物**があると寄ってくれて便利
- ・茶内、厚岸での**買い物**がある
- ・コープさっぽろの**移動販売**や**宅配**をりようしている人もいる

### その他（ゆうゆについて）

- ・食事の**持ち込みが禁止**になりバス料金と食事料金1000円前後では利用回数が減る  
→バス料金と利用料金セットの割安感のある企画乗車、高齢者の半額なども考えられ

# 2-6. 浜中町茶内コミュニティセンターでの意見

## 対象地域 茶内市街地・近郊

### 買い物

- ・町内で買えないもの（オムツ等）があり、**釧路市まで行って買い物**をする必要がある
- ・平日は仕事のため、休日に買い物に行く

### 周知

- ・子どもの送迎を行っている家庭で、高齢者を対象とした実証実験だと思っており、利用したくても利用しなかった
- ・子育て世代は「コープはまなか」での情報が一番目につきやすいと思う
- ・**小中学校での周知**が有効ではないか

### 習い事

- ・町内では霧多布周辺施設（スケートリンク等）での**習い事**が多い
- ・送迎の時間がなくなり、便利だった
- ・一方で、**習い事のための交通機関がなく**、釧路市まで送迎をする家庭や習い事自体を諦めている家庭もある
- ・**スクールバス**は少年団の活動で利用できないため、勿体ない

### 待合環境

- ・総合文化センター、ゆうゆ等が霧多布市街地での**待合施設**
- ・総合文化センターは**開館時間が曜日によって異なっており**、待合施設として利用しにくい

### 将来の交通

- ・利用状況から**デマンド交通の導入は必要**と思うが、利用登録をして**予約を簡便に行えるような利用しやすい予約方法**があると高齢者も利用しやすい
- ・**予約アプリ**等があると利用しやすい
- ・今回の実証実験で運行した霧多布湿原線は必要
- ・利用したい交通や時間帯は世代によって異なるため、それぞれの**世代に応じた運行形態、便の設定**が必要
- ・JRの廃線問題が随所で見られることからJRとバスが共倒れにならないよう**住み分けが必要**



## 2-7. 浜中農村環境改善センターでの意見

### 対象地域 浜中市街地・近郊、熊牛

#### 運行時間

- ・くしろバスより始発が1時間遅く、滞在時間が少なかったため不便だった
- ・浜中代替線で霧多布市街地に向かい、デマンド便で帰っていた

#### 周知

- ・運行情報がわかりにくく、帰りの便に乗車できるか不安だった
- ・霧多布湿原線とJRを活用した利用の仕方を知らなかったが、利用してみたい

#### 運賃

- ・実証実験の運賃は安くて利用しやすかった
- ・普段は町からの助成を活用している

#### 待合環境

- ・子野日公園での接続待ちが大変だった

#### 生活の場所と交通

- ・浜中市街地は交通が不便
- ・霧多布市街地から浜中市街地に引っ越してきたが、外出を控えている人が多い
- ・外出の際には、家族の送迎が多い
- ・90代でも運転を続けている人がいる
- ・タクシーは残してほしい

## 2-8. 浜中町総合文化センターでの意見

### 対象地域 霧多布、湯沸、新川・暮帰別

#### 実証実験について

- ・霧多布湿原線からJRへ乗り継いで、釧路へ行ったが支払い運賃が安く済んだことや移動時間が早く、移動が楽だった
- ・霧多布湿原線から特急ねむろ号に乗り継ぐ際にセイコーマートで待つことができ、便利だった

#### 町内移動

- ・霧多布厚岸線は日中時間帯の運行がなく、散布の人が困っていた
- ・公共交通を使わざるを得ない人は、土日祝日に町内移動ができない

#### 通学

- ・霧多布厚岸線は最終便も子野日公園で接続していれば、もっと便利だった
- ・帰宅時に、浜中駅まで迎えに行っていた
- ・茶内駅で降車すれば、比較的夜遅い時間でもバスで霧多布市街地まで帰ってこられることを知らなかった

#### 周知

- ・特急ねむろ号のバス車両がわかりにくかった
- ・特急ねむろ号の乗降場所がわかりにくかった
- ・チラシ等に運行車両の写真や乗り換え場所を示した図があれば分かりやすい

#### 現状

- ・バスに対する興味がない人が多いように感じる
- ・興味をもってもらうため、町から積極的な情報提供等があると良いのではないか

#### 将来

- ・もっとバスが身近な交通手段であることを認識してもらえるような工夫
- ・子どもでも安心して利用できる環境づくり

# 地域の意見・要望などから見えてくる課題1

## 地域の意見・要望など

### 地域の状況

- ・茶内は子どもが増加
- ・漁業者は浜で暮らす
- ・ゆうゆの持ち込み禁止
- ・移動販売、宅配

### 他の交通機関の状況

- ・他の交通機関との役割分担が必要
- ・スクールバスの回送がもったいない
- ・病院が送迎バスを出している
- ・リハビリステーションの送迎バス
- ・特急ねむろ号（病院の立ち寄りが多い）
- ・JRの時間に合わせた交通
- ・乗り継ぎ利便性（時間、場所）を向上してほしい

## 検討すべき課題

### 暮らし方に合わせた交通のあり方を検討

- ・町民の生活行動に合わせた公共交通網の検討
- ・子どものおでかけ利用も含めた検討

### 他の交通との連携も考慮した運行形態を検討

- ・JR、都市間バスなどとの乗り継ぎを考慮した運行形態の検討
- ・民間等の送迎バスの情報を把握・周知し、地域としての利便性向上を考慮した運行形態の検討

# 地域の意見・要望などから見えてくる課題2

## 地域の意見・要望など

### 公共交通の考え方

- ・利用がないバスを走らせる必要は無い（デマンド化）
- ・有料になるのは仕方がない
- ・運転免許の返納で利用する時がくる
- ・利用者（世代・時間）に応じた運行形態



## 検討すべき課題

### 利用状況に合わせた運行形態を検討

- ・移動の需要※に合わせた運行形態の検討
- ・将来的な移動需要の変化による運行形態の見直しなどPDCAサイクルの確実な実施

※ 移動の需要と要望のある地域

移動の需要	要望のあった地域
通学	散布、琵琶瀬
買い物・ゆうゆ	姉別、琵琶瀬、榊町・奔幌戸、茶内
通院	散布、琵琶瀬
デイサロン	茶内・円朱別
習い事	茶内
湿原センター	茶内
総合体育館	茶内
昆布時期の通勤	琵琶瀬
観光客	（茶内駅、浜中駅）

# 地域の意見・要望などから見えてくる課題3

## 地域の意見・要望など

### 利便性の向上

- ・特売日に利用したい
- ・休日も運行してほしい
- ・乗車券の購入が煩わしい（現金で支払いたい）
- ・前日予約は予定が決まらないことも
- ・予約の簡便化、アプリ利用
- ・確認待ちの電話の時間
- ・乗り降りのしやすいバス
- ・車両・乗降所の分かりやすさ
- ・総合体育館などを待合所として活用
- ・年末年始だけの利用もある

### 周知・説明の不足

- ・料金の割高感がある
- ・同じ地区で異なる料金体系の理由が不明
- ・乗り継ぎの不便さに納得いかない
- ・利用料金がかかることへ抵抗がある
- ・薬をもらうだけでも町外に行っている
- ・小中学校で周知すると多くの人を知るのでは

## 検討すべき課題

### 利用しやすい仕組みを検討

- ・運行時間の見直し
- ・支払方法の見直し
- ・予約方法（伝え方）の見直し
- ・バス・乗降場の改善
- ・待合所として既存施設の有効活用を検討
- ・イベントなどの利用時期に対する柔軟な対応

### 町民に対する伝え方を検討

- ・料金の徴取、乗り継ぎの必要性など理解してもらわなくてはならないことについて周知する方法を検討
- ・バスの有用性に関する周知